



## ★「はげめ 勉強」～質の高い日常実践を通して～ ★ No.2

先日は授業参観並びに懇談会のためにご来校くださり、ありがとうございました。今年度の1学期も終盤を迎え、それぞれの学級では一段と質の高い学習が行われています。また、この時期はテストなども多く行われます。教科書を開いての確認や習熟のための練習などを少しずつ行うことで、成績がアップすること間違いなしです。日々の地道な家庭学習が威力を発揮する時です。どうぞ、ご家庭でもひと声かけてあげてください。



さて、前々号にも記載しました“より良い授業づくりの取組”のNo.2を以下に記します。

7月3日(月)は5年2組で授業研究が行われ、全教員が参観そして放課後には授業構成や子ども達の習得状況等について話し合いを行いました。今後も子ども達の確かな学力や学びに向かう力の育成に努めていきたいと思ひます。日々、本校の先生たちは頑張っています！

### ◆ 算数【5年2組 石垣学級】

授業は『小数のわり算』という単元で、「除数が小数の場合の除法の意味や、計算の仕方について理解する」という単元目標があります。

授業は“基準量を求めるときは□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを理解する”という目標の学習でした。

【問題】 れなさんの家には、生後10日の犬がいます。今の体重は630gで、生まれた時の体重の1.8倍です。生まれた時の体重は何gでしたか。

【課題】 1をさがして、数直線を書こう。

さすが高学年らしく、先生の指示に的確に反応する子ども達の姿に1学期間の成長を感じました。どの子も主体的に、前時までのノートから課題を考えたりノートに数直線を書いたりし、答えを導き出していました。

その数直線を書く子ども達の作業工程が、実に素早くていねいに進められていたことが印象に残りました。これは、日常の訓練、学習活動の積み重ねが結果となって現れたものと思ひます。

メリハリと抑揚ある石垣先生の話術や計画的且つ質の高いノート指導が、確実に子ども達の力に結びついていると実感した授業でした。



本日、『生活リズムチェックシート』を全児童に配りました。7/10(月)～7/16(日)の7日間の生活や学習の様子を記入し提出してください。提出日は7月18日(火)です。ご協力をお願いします。

## ★ きらら学級～夏まつりを行いました ★



1学期のまとめの行事として、きらら学級では“夏まつり”を行いました。この日のために、短冊作りなどに頑張ってきた子ども達でした。縁日コーナーではヨーヨーつりや型抜き、輪投げなどが用意され、親子で楽しむ様子が微笑ましかったです。

子ども達に楽しいひと時を過ごしてもらうために、保護者と先生方が協力して場を盛り上げながら運営された夏祭りでした。早朝よりお越しいただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。

## ★ 保護者の皆様をお願い ★

No.1 夏休みが近づいています。“生活のきまり”を今一度ご確認ください。

- ① 不要な店への出入りや友達どうしのおごり合いをしないこと。《金銭トラブルのもとになります》
- ② ゲームコーナーへは、保護者同伴でなければ入ってはいけないこと。《帯広市生徒指導連絡協議会のきまり》
- ③ 物の交換や貸し借りは保護者の許可のもと行うこと。《ゲーム機やゲームソフトを家の外に持ち出さない》
- ④ 自転車に乗って行ける範囲は“校区内”ということ。《ただし4年生以上は、啓西小プールはOKです》
- ⑤ おうちの人(大人)がいない家へ上がったの遊びはしないこと。《外で元気良くあそぶのが一番》

No.2 携帯電話の持ち込みやインターネットサイトの使用、その他について

- ① 携帯電話機の学校への持ち込みは原則禁止です。《止むを得ない事情がある場合は担任までご相談ください》
- ② 様々な有害サイトに子どもがアクセスしている可能性有り。《保護者がその使用を知らない場合があります》
- ③ 小学生らしい髪型(髪の毛の染色は禁止)や服装に心がけること。《帯広市生徒指導連絡協議会のきまり》

No.3 自転車の乗り方については、より一層の指導をお願いいたします。

止まる

見る

待つ



栄小学校校区には国道38号線もあり、大変交通量が多い地域です。そのような所を毎日登下校している栄小学校の子ども達にとって、交通事故は身近な問題であり、その防止策は重要な課題と言えます。本校においては今学期、自転車で転倒し大きなケガをするという事故がありました。休みの日や放課後に、ルールを守らずに自転車に乗ることは命にかかわることですので、日常的な指導を繰り返し繰り返し行うことが重要だと考えています。

そこで、毎年、交通指導員さんに指導していただいていることを改めて確認してほしいと思います。

基本は『止まる・見る・待つ』です。また、自転車で横断歩道を渡るときは『自転車を降りて、押して渡ることが望ましい』ということです。

まわりの大人や高校生などが携帯電話を操作しながら乗るなど、危険な自転車運転を見かけることがありますが、小学生の今こそ、ルールやマナーをしっかり身につけてほしいものです。

『自分の命は自分で守る』という強い意識をもって自転車を使用するよう、家庭・学校で根気強く指導していきましょう。

“何度言っても聞かせても、聞かせ過ぎということはありません。”